

京都大学理学研究科・理学部数学教室同窓会  
役員会議事録

平成 29 年 9 月 2 日（土）14:00~16:00

理学研究科 3 号館 305 セミナー室にて

出席者：渡辺信三，井川満，稲生啓行，菊地克彦，木坂正史，重川一郎，中山素生，吉川謙一，  
吉田敬之，篠崎由加里（事務局）

委任状提出者：阿部拓郎，池田保，平賀郁，松本和一郎

出席者と委任状提出を合わせると役員全員であり，役員会は成立．

渡辺会長が，井川副会長が議長として議事進行することを了承したので，井川が議長を務めることとなった．

## 1．報告

### ● 学位記授与式の開催

平成 28 年度修士，学士学位記授与式をそれぞれ平成 29 年 3 月 23 日（木），24 日（金）に開催した．それぞれ雪江専攻主任，坂上副専攻長（山口専攻長が出張のため代理）による式辞があり，それを同窓会誌に掲載した（雪江専攻主任は原稿のファイルを持っていたそうで，坂上副専攻長は記憶をたどり書いてくださったとのこと）．次回からは，予め専攻主任，専攻長に同窓会誌に式辞を掲載することを伝え，原稿をいただくことにする．

同窓会からは，授与式の懇親会に飲み物とおつまみを，記念品として阿闍梨餅 2 個が入った袋に「祝修了・卒業 京大数学同窓会」と記した熨斗紙をつけて提供した．写真を希望した者には実費徴収のうえ後日送付した．井川副会長から祝辞を述べ，その中で同窓会への寄付をお願いし，その場で多数の寄付があった．

### ● 同窓会誌

2016 年 8 月開催の役員会で，編集規則を制定した．規則に従い編集委員会を，重川常任幹事（広報担当）を編集長，井川副会長を副編集長，岸本展会員（平成 18 年学部卒，数理解析研究所講師），事務局の田中紀子氏で組織した．

編集規則にしたがって刊行されたものが，正式の同窓会誌創刊号となる．創刊号は平成 29 年 8 月 25 日（金）に発行された．1100 冊印刷し，送付先を把握している約 800 人の会員には，同窓会誌に総会開催の案内と寄付依頼を同封し，週明けの 9 月 4 日（月）に発送予定．

現在同窓会誌の愛称募集を検討中．

### ● 会計

平成 28 年度（平成 28 年 6 月 1 日～5 月 31 日）の会計が報告された．既に監査済．平成 28 年度終了時点で約 99 万円の繰越金があった．

寄付が 168 万円程あった．このような多額の寄付が有ったのは，同窓会発足への“お祝い”的寄付が有ったことに依ると思われる．今後はこのような金額は期待できないであろう．

総会行事の講演会の講演者（広中平祐氏）への謝礼は，広中先生のご厚意により，そのまま同窓会に寄付された（これは特例であり，慣行としてはならない）．平成 29 年度については，現在まで同窓会誌印刷等約 40 万円を含め，約 50 万円の支出があり，収入は 0 円．

- 総会行事準備状況

世話人会で開催日や講演会講師を検討した。京都大学の行事（ホームカミングデイ（全学）、サイエンス倶楽部デイ（理学部）、特色入試等）との日程を調整し、開催日の候補を複数設定し、講演の候補者に打診した。その結果、松井充氏（三菱電機株式会社開発本部役員技監）に11月11日（土）の講演をお引き受けいただき、開催日その日に決定した。講演は90分で、途中で休憩を入れてもらう。

講演会の前に総会を開催し、講演後に懇親会を行う。懇親会は時計台2階国際交流ホールI（全体の3分の1）で行う。

## 2. 議事

- 総会の議題

役員改選の年度であり、阿部拓郎常任理事（現九州大学准教授）には退任してもらい、浅岡正幸会員（平成8年学部卒、当教室准教授）を新たに常任幹事に推薦する。当人は了承済み。

渡辺会長より、平成29年度をもって会長退任の意向を示され、役員会はこれを了承した。今後新会長および新役員の人選を行う必要がある。

- 平成29年度の行事

総会行事（平成29年11月11日（土））

学位記授与式（平成30年3月26日（月）修士、27日（火）学士）

- 今後の活動

1. 支部の結成

まず東京で結成できないか。例えばアクチュアリーの方々の集まりを中心にして支部を作れないか。

2. 愛称（同窓会本体、総会行事、同窓会誌）を募集する。愛称は役員会の責任で選考する（役員会で決定、または選考委員会を立ち上げる等）。総会にて愛称の募集を告知する。

- 会費、寄付

前年度の総会で、“実質的に会費である寄付”をどのように表現するかを検討するようにとの意見が出された。

「年会費」の呼称で会費を募ることを総会にて提案する。

- その他

1. 同窓会誌編集細則を作成する。

今後、会員から“寄稿”などを広く募集していかねばならない。しかし、広く原稿を募集すると、同窓会誌に掲載するには相応しくない原稿が寄せられる可能性が出てくる。編集委員会が掲載・不掲載を判断をしなければならないが、その基準等をもう少し具体的形で定めておく必要がある。

2. 総会行事の講演会の講師をどのように決めるか．

数学会関係者だけではなく、より広く様々な業界で活躍する会員に講演をお願いしたい．例えば講演会において、参加者からアンケートをとり、今後どのような方の講演・講演者を希望するかなどを尋ねるといった方法もある．

以上、役員会は散会となる．